



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

●幼児の転落防止のため、下記事項を厳守してください。

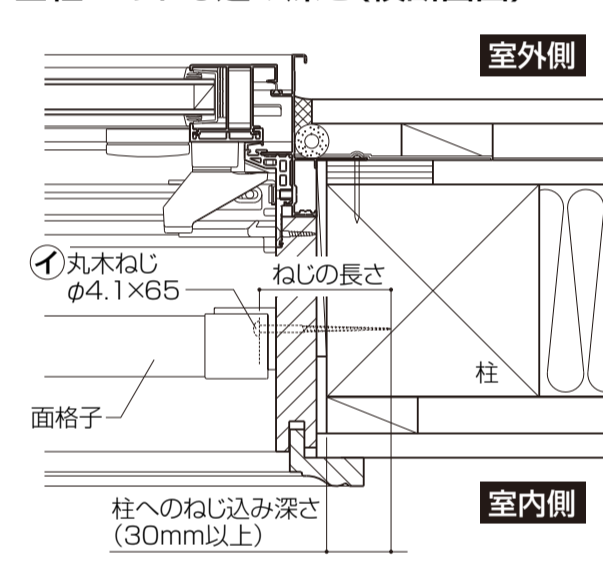
- ・FL(床面)から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけ、のぼるおそれがあります。

### ▲注意

●面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

- ・面格子は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度はありません。
- ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には取付けないでください。
- ・取付け前に必ず、柱の位置・寸法、内装材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- ・枠は必ず柱に指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
- ・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- ・強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
- ・仮固定の状態では面格子から手を離さないでください。面格子が落下するおそれがあります。
- ・必ず本締めをしてください。仮固定のままでは面格子が落下するおそれがあります。
- ・面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

#### ■柱へのねじ込み深さ(横断面図)



### ■取付け上のお願

- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
- サッシのハンドルなど動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。
- 固定ボルトは必ず専用工具(別売品)で締付けてください。
- 固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締付けてください。締めすぎると面格子が変形します。
- 左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。
- 防犯建物部品の規定に適用していない場合は、防犯CPラベルをはがしてください。

### ■取付け順序

#### 1 取付け位置の確認

### ■取付け詳細

#### 1 取付け位置の確認

##### 【取付け高さの確認】

※FLから額縁上端までの高さが651mm以上あることを確認してください。

### ▲警告

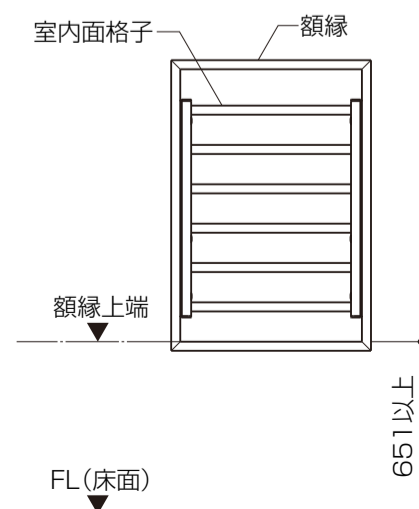
- FL(床面)から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけ、のぼるおそれがあります。

##### 【取付け面の確認】

※面格子の固定に支障がないように、下記事項を確認してください。

- ①取付面が木額縁、又はクロス(壁紙)仕上げであることを確認してください。
- ②取付面に段差がないことを確認してください。
- ③取付面の垂直が正しく出ていることを確認してください。

#### 【取付け高さ】

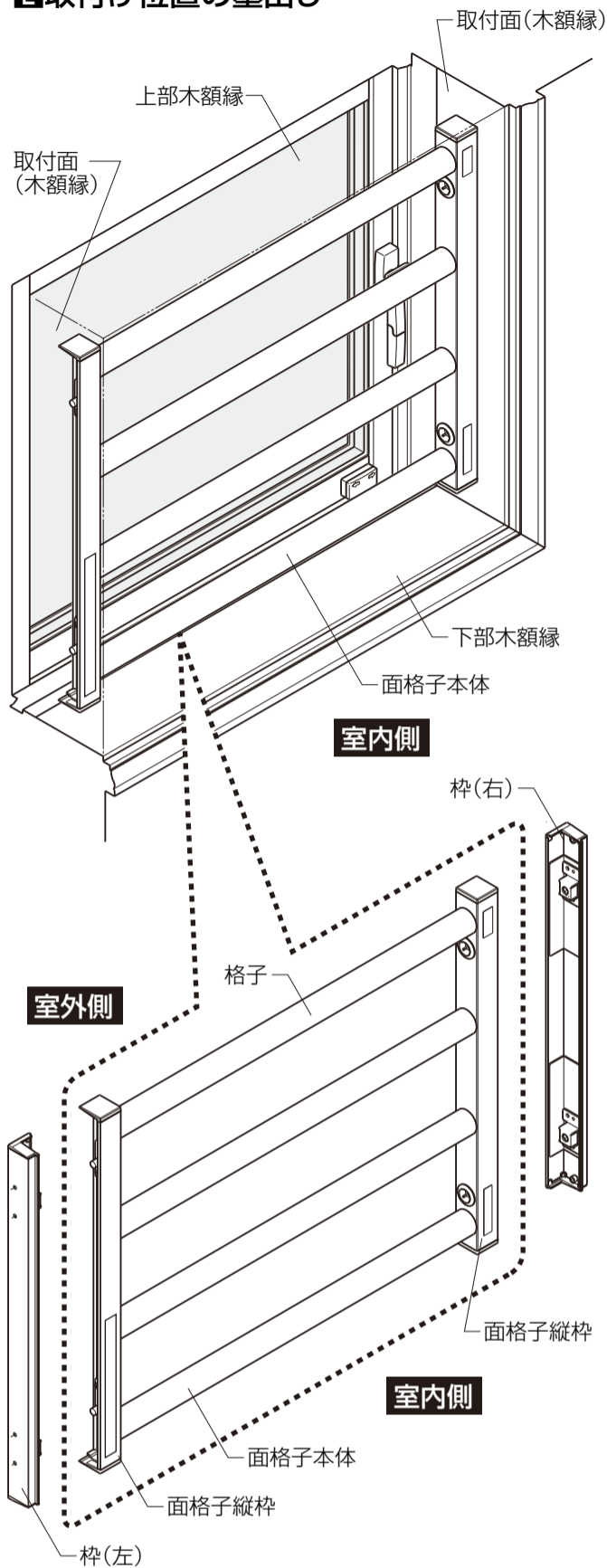


### ■取付け部品一覧表

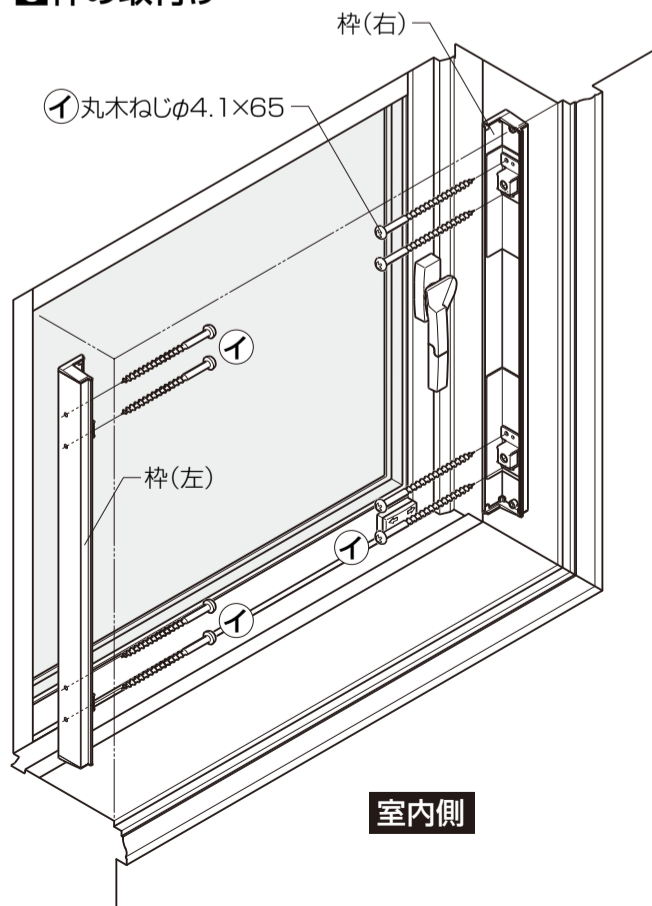
①	②	③
丸木ねじφ4.1×65	固定ボルトM8×16	専用工具

### ■別売品

## 2 取付け位置の墨出し



## 3 枠の取付け



## 2 取付け位置の墨出し

### 【高さ方向の墨出し】(図-1)

①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が80mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が230mm以下となる位置に合わせます。

※面格子の格子が1本の場合は、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が34.5mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が184.5mm以下となる位置に合わせます。

お願い

※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで上下移動してください。

※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆など(後で消せるもの)で、面格子縦枠底面に沿って墨出しをします。

④室内左側は、右側と同じ高さに墨出しをします。

お願い

※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

### 【前後方向の墨出し】(図-2)

①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、丸木ねじφ4.1×65が柱に止まる位置に合わせます。

お願い

※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで前後移動してください。

※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆などで、面格子縦枠の室内面に沿って墨出しをします。

③室内左側は、右側と同じ位置に墨出しをします。

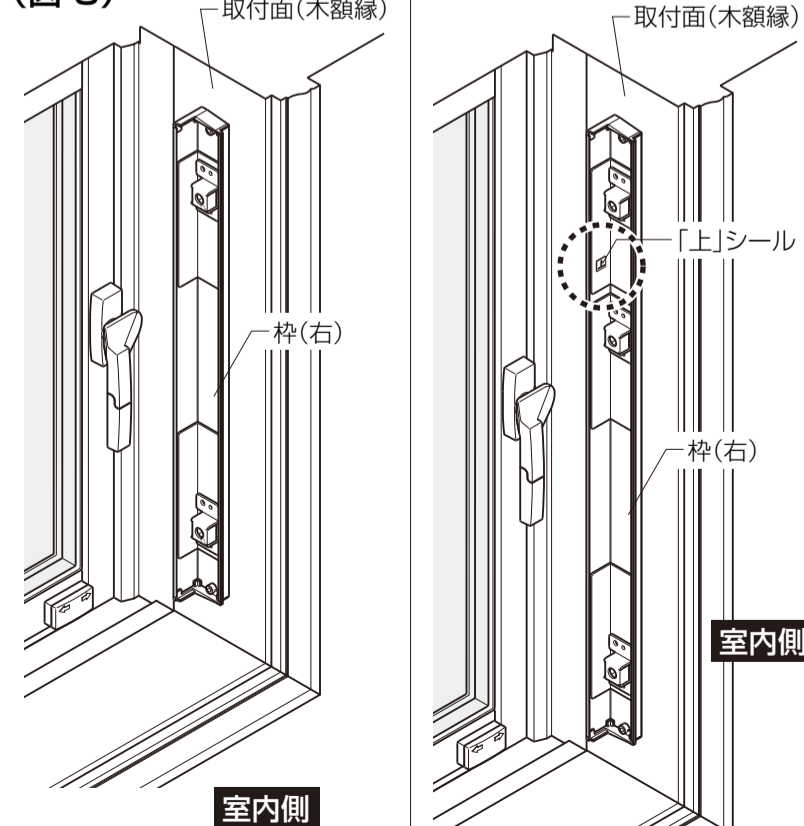
お願い

※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

## 3 枠の取付け

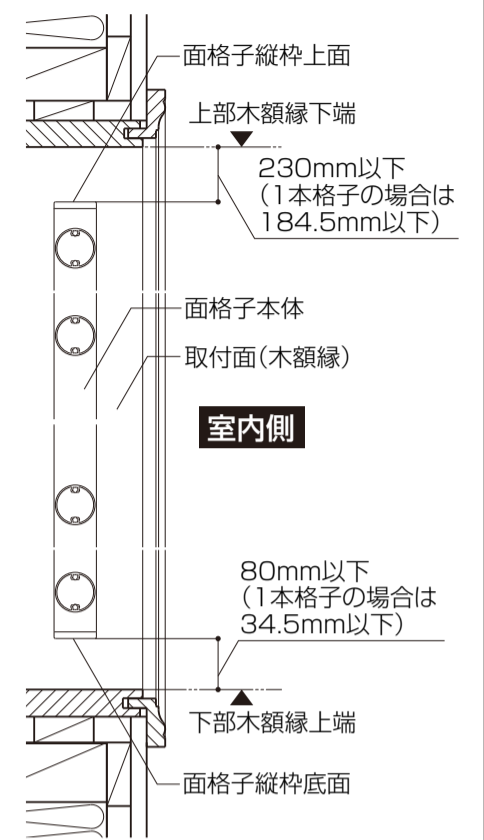
①枠(右)の向きを確認してください。(図-3)  
※格子が5本以上の場合は上下がありますので、「上」シールを上にして取付けてください。

### (図-3)

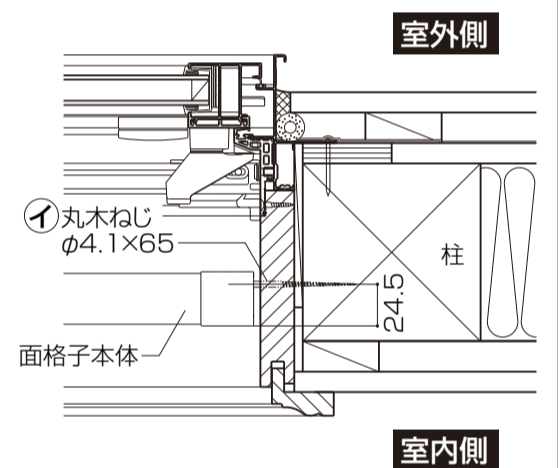


### ■格子5本以上の場合

### (図-1)

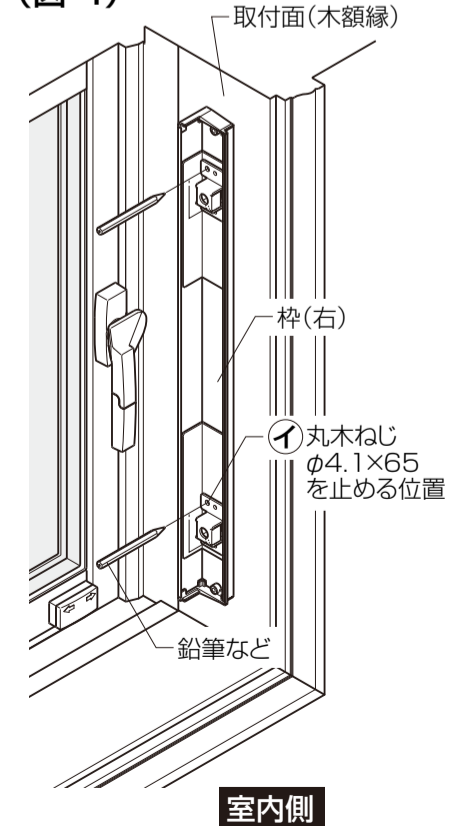


### (図-2)



②枠(右)を取付面の墨出し位置に合わせて、丸木ねじφ4.1×65を止める位置に鉛筆などで目印を付けます。(図-4)

### (図-4)



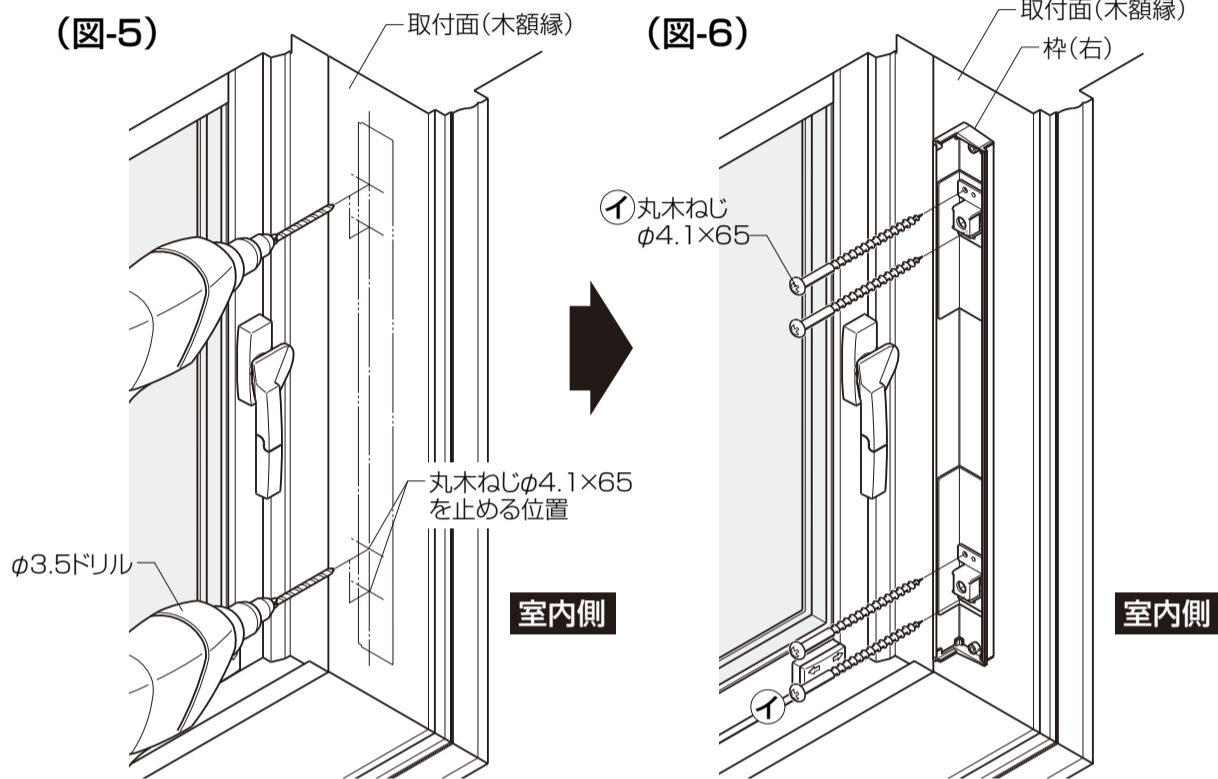
- ③②の目印にφ3.5のドリルで下穴をあけます。(図-5)
- ④枠(右)を取付面に丸木ねじφ4.1×65で取付けます。(図-6)
- ⑤同様に枠(左)も①～④の手順で取付けます。

**▲ 注意**

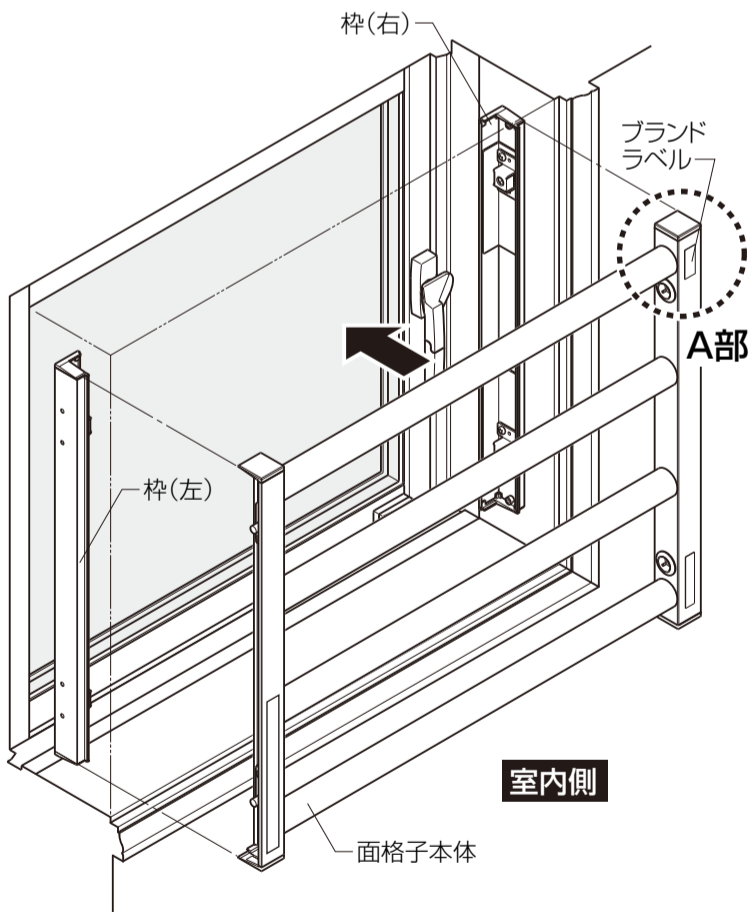
- 枠は必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けしないでください。
- 強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。

**お願い**

※左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。



**4 面格子本体の仮固定**



**4 面格子本体の仮固定**

※固定ボルトM8×16と専用工具(別売品)を準備します。

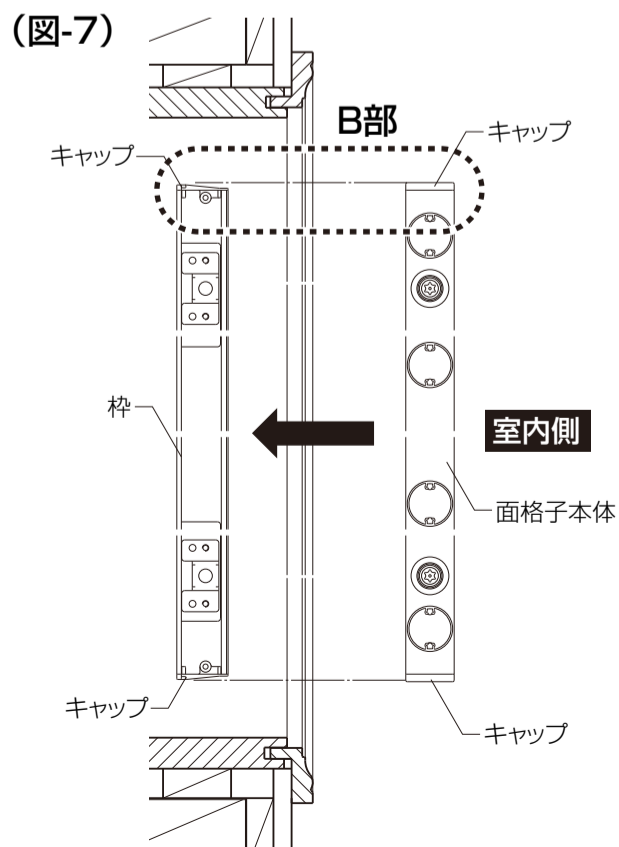
- ①面格子本体の向きを確認してください。(A部)
- ※ブランドラベルを室内側(右上)にしてください。
- ②面格子本体を室内側から枠にはめ込みます。(図-7)

**▲ 注意**

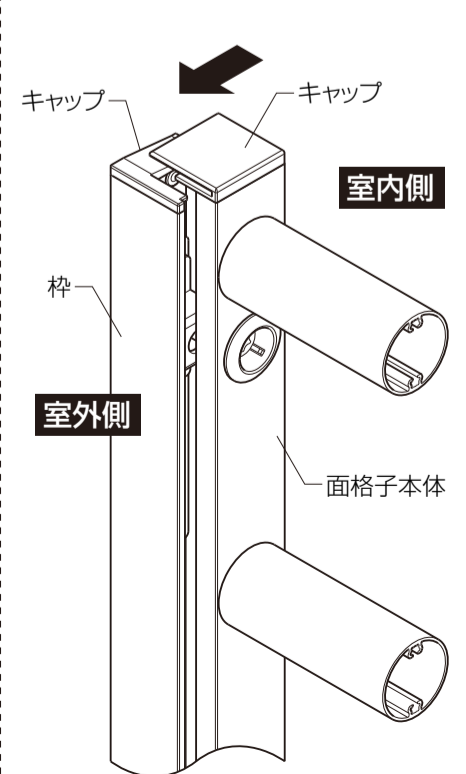
- 仮固定の状態では、面格子から手をはなさないでください。面格子が落下するおそれがあります。
- 必ず⑤の本締めをしてください。仮固定のままでは面格子が落下するおそれがあります。

**お願い**

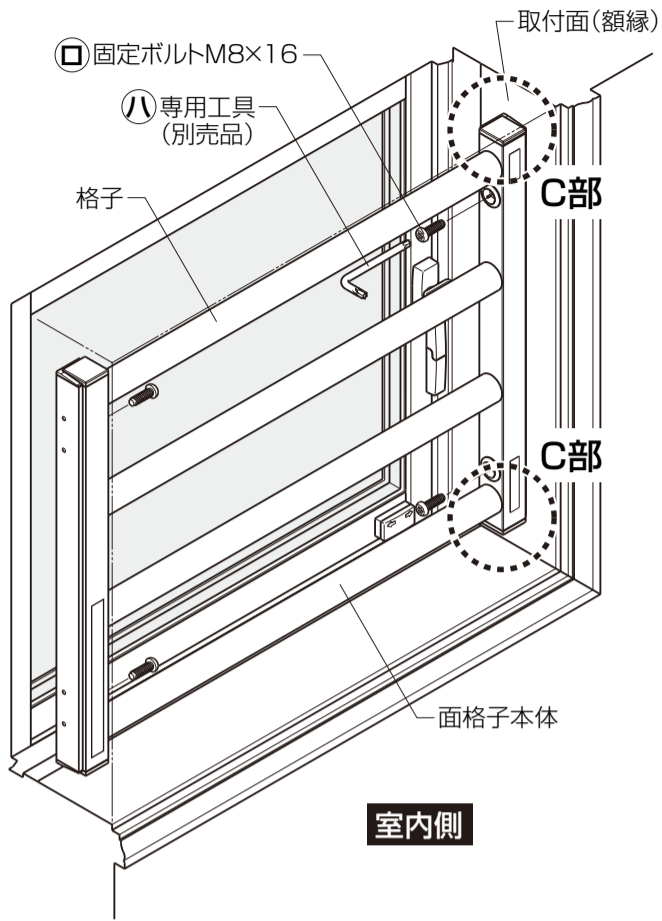
※四隅のキャップが、すべてはまったことを確認してください。



**■ B部詳細図**



## 5 面格子本体の固定



## 5 面格子本体の固定

①面格子本体にある固定リングに固定ボルトM8×16を挿入し、専用工具(別売品)で左右をねじ止めします。

### ▲ 注意

- 強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
- 面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

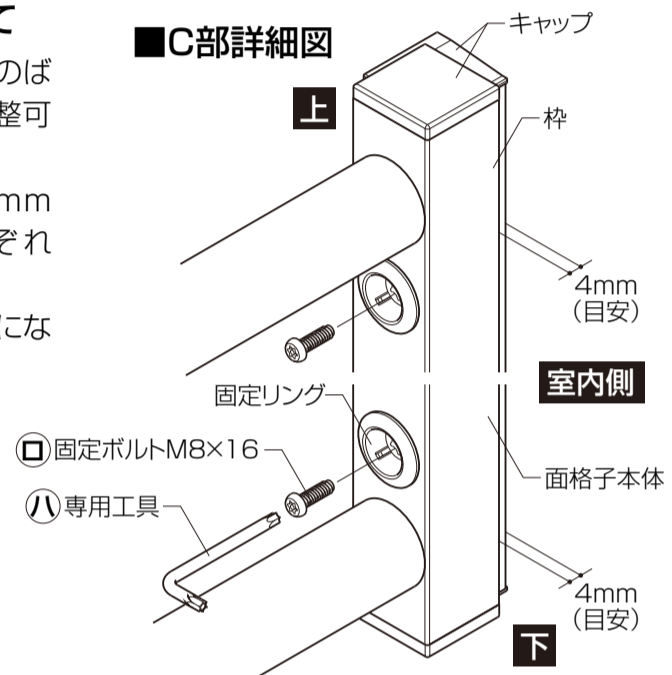
### お願い

- ※固定ボルトは必ず専用工具(別売品)で締付けてください。
- ※固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締付けてください。締めすぎると面格子が変形します。
- ※専用工具を格子に当てないようにねじ止めしてください。

### ■ 建付け調整機能について

- 本製品は造作材の仕上りのばらつきを考慮し、出来幅を調整可能としています。
- ※面格子本体と枠のズレが4mmを基準として、左右それぞれ±4mmの調整が可能です。
- 取付の際は、ズレが左右均等になるようにしてください。(目安4mm)

### ■ C部詳細図



## 6 取付け後の確認

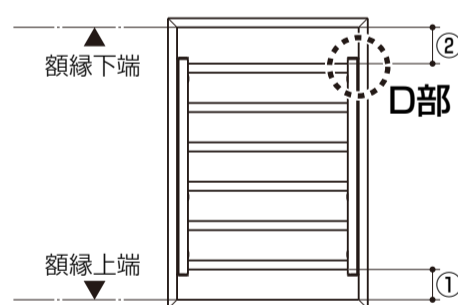
## 6 取付け後の確認

※防犯建物部品の規定に適用していることを確認してください。

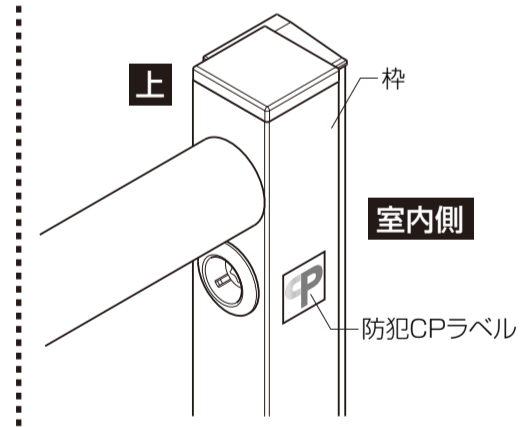
### お願い

※防犯建物部品の規定に適用していない場合は、防犯CPラベルをはがしてください。

### ■ 防犯建物部品の規定



### ■ D部詳細図



①額縁上端と格子下端までのすき間が100mm以内であること。

②面格子本体と額縁下端のすき間に、次の大きさのブロックのいずれも通過が不可能であること。

- ・400mm×250mmの長方形
- ・400mm×300mmの楕円形
- ・直径が350mmの円